



令和5年10月17日

担当課	こども総合支援センター
担当者	和田、武嶋
電話	(073) 402-7830
内線	—

教育や児童福祉に係る職員等を対象に ヤングケアラー支援の講演会を開催します！

昨年度に続き、ヤングケアラー支援についての講演会を開催します。

昨年度は、ヤングケアラーの概要、支援方法やかかわり方など、ヤングケアラーについての総論的な内容の講演会を実施しました。

今年度は、ヤングケアラーの問題は一機関で対応できるものではなく、多機関多職種での連携したかかわりが重要となるため、その連携方法や支援体制のあり方など、より具体的な対応・支援体制等についての講演となります。また、今回の講演会では、当事者の方もお招きし、実際に役立った支援や望んでいる支援など経験者ならではの意見を聞くことができる貴重な機会となると考えております。

- 1 開催日時
 - ・令和5年10月24日（火） 13時30分～16時00分
- 2 開催場所
 - ・南コミュニティセンター 5階多目的ホール
(住所：和歌山市紀三井寺856番地)
- 3 講演内容
 - ・講演 「ヤングケアラー支援に対する多機関多職種連携について」
 - ・講師 斉藤 真緒（さいとう まお） 立命館大学産業社会学部教授
- 4 参加者
 - ・教員、民生委員・児童委員及び児童福祉に係る行政職員

? ヤングケアラーって？

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼い子どもへの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。